2027年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年11月12日

上場会社名	株式会社ゲームカードホールディングス	上場取引所	東
コード番号	6249	URL	https://www.gc-holdings.co.jp/
代表者	（役職名） 代表取締役社長	（氏名）	鈴木　聡
問合せ先責任者	（役職名） 取締役	（氏名）	原　明彦　（TEL）03-6803-0301
半期報告書提出予定日	2026年11月13日	配当支払開始予定日	2026年12月１日

決算補足説明資料作成の有無　：無
決算説明会開催の有無　：無

（百万円未満切捨て）

１．2027年３月期第２四半期（中間期）の連結業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績（累計）　（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期中間期	10,314	△27.4	1,898	△47.4	2,268	△41.4	1,389	△46.5
2026年３月期中間期	14,202	△38.8	3,606	△40.2	3,870	△38.5	2,597	△41.3

（注）包括利益　2027年３月期中間期　1,411百万円（△47.8%）2026年３月期中間期　2,705百万円（△43.2%）

	１株当たり中間純利益	潜在株式調整後１株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年３月期中間期	99.06	―
2026年３月期中間期	185.21	―

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年３月期中間期	66,997	61,095	91.2
2026年３月期	66,314	60,376	91.0

（参考）自己資本　2027年３月期中間期　61,095百万円　2026年３月期　60,376百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年３月期	―	50.00	―	50.00	100.00
2027年３月期	―	50.00			
2027年３月期（予想）			―	60.00	110.00

（注）１.直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　有
配当予想の修正については、本日（2026年11月12日）公表いたしました「期末配当予想の修正（会社設立15周年記念配当）に関するお知らせ」をご覧ください。
２.2027年３月期配当の内訳　普通配当100円　記念配当10円（会社設立15周年記念配当）

３．2027年３月期の連結業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,000	△17.3	3,000	△33.8	3,500	△31.2	2,400	△26.4	171.10

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※　注記事項

（１）当中間期における連結範囲の重要な変更：無

新規　　ー社（社名）-、除外　　ー社（社名）-

（２）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：有

(注)詳細は、添付資料６ページ「２.中間連結財務諸表及び主な注記（３)中間連結財務諸表に関する注記事項　（中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：無

②　①以外の会計方針の変更　　：無

③　会計上の見積りの変更　　：無

④　修正再表示　　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年３月期中間期	14,681,400株	2026年３月期	14,681,400株
②　期末自己株式数	2027年３月期中間期	650,623株	2026年３月期	654,623株
③　期中平均株式数（中間期）	2027年３月期中間期	14,028,308株	2026年３月期中間期	14,024,552株

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料２ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当中間決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 2
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 2
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 3
（１）中間連結貸借対照表 …… 3
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 4
（３）中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 6
（継続企業の前提に関する注記） …… 6
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 6
（中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用） …… 6

１．当中間決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善、AI・半導体を中心とした堅調な設備投資などを背景に、景気は緩やかな回復基調が継続いたしました。一方で、中東情勢の緊迫化を背景とした原材料価格やエネルギー価格の高止まり、物価上昇や国内金利の上昇、為替相場の変動等による景気への影響懸念、長期化するウクライナ情勢などの地政学リスク等依然として先行き不透明な状況が続いております。

そうした中、遊技業界においては、引き続きスマート遊技機への移行に伴う投資が見込まれるものの、一方で人件費・光熱費などホール運営コストの上昇を背景に設備投資を抑制する傾向が見られました。

以上の結果、当中間連結会計期間の業績は、売上高は10,314百万円（前年同期比27.4％減）、営業利益は1,898百万円（同47.4％減）、経常利益は2,268百万円（同41.4％減）、親会社株主に帰属する中間純利益は1,389百万円（同46.5％減）となりました。

（２）財政状態に関する説明

（資産）

当中間連結会計期間末の総資産は66,997百万円となり、前連結会計年度末と比較し682百万円増加いたしました。

これは主に、現金及び預金が3,819百万円、その他（投資その他の資産）が1,967百万円増加した一方で、有価証券が1,995百万円、商品及び製品が1,529百万円、投資有価証券が958百万円、無形固定資産が814百万円減少したことによるものであります。

（負債）

負債合計は5,901百万円となり、前連結会計年度末と比較し37百万円減少いたしました。

これは主に、未払法人税等が403百万円増加した一方で、その他（固定負債）が556百万円減少したことによるものであります。

（純資産）

純資産合計は61,095百万円となり、前連結会計年度末と比較し719百万円増加いたしました。

これは主に、利益剰余金が688百万円増加したことによるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年５月14日付「2026年３月期　決算短信」にて公表いたしました通期の連結業績予想につきましては、現時点において変更しておりません。今後修正が必要となった場合には、速やかに開示いたします。

２．中間連結財務諸表及び主な注記

（１）中間連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （2026年３月31日）	当中間連結会計期間 （2026年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,327	15,147
受取手形及び売掛金	2,008	2,349
営業未収入金	316	285
有価証券	27,010	25,014
商品及び製品	9,062	7,532
原材料及び貯蔵品	157	161
その他	607	542
流動資産合計	50,489	51,033
固定資産		
有形固定資産	638	583
無形固定資産	1,505	691
投資その他の資産		
投資有価証券	12,928	11,969
その他	778	2,745
貸倒引当金	△24	△25
投資その他の資産合計	13,681	14,689
固定資産合計	15,825	15,964
資産合計	66,314	66,997
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,070	1,122
営業未払金	7	2
未払法人税等	289	692
引当金	212	168
その他	1,674	1,754
流動負債合計	3,254	3,739
固定負債		
引当金	51	60
退職給付に係る負債	463	487
その他	2,169	1,612
固定負債合計	2,684	2,161
負債合計	5,938	5,901
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,956	5,956
資本剰余金	5,520	5,521
利益剰余金	50,309	50,997
自己株式	△1,339	△1,331
株主資本合計	60,446	61,144
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△70	△48
その他の包括利益累計額合計	△70	△48
純資産合計	60,376	61,095
負債純資産合計	66,314	66,997

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

（中間連結損益計算書）

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
売上高	14,202	10,314
売上原価	7,717	5,579
売上総利益	6,485	4,735
販売費及び一般管理費	2,878	2,836
営業利益	3,606	1,898
営業外収益		
受取利息	171	305
受取配当金	36	22
特許料収入	54	40
その他	8	5
営業外収益合計	271	373
営業外費用		
支払利息	2	3
投資有価証券売却損	2	－
雑損失	1	－
その他	1	0
営業外費用合計	8	4
経常利益	3,870	2,268
特別利益		
投資有価証券売却益	119	－
特別利益合計	119	－
特別損失		
固定資産除却損	－	218
特別損失合計	－	218
税金等調整前中間純利益	3,990	2,049
法人税等	1,392	659
中間純利益	2,597	1,389
親会社株主に帰属する中間純利益	2,597	1,389

（中間連結包括利益計算書）

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
中間純利益	2,597	1,389
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	107	21
その他の包括利益合計	107	21
中間包括利益	2,705	1,411
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	2,705	1,411

（３）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算）

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。